

CLAIRE O'NEILL

Recent UK Climate and Energy Minister

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Claire O'Neillは、コンサルティングとファイナンスにおける大西洋横断のキャリアを経て、2010年に政治に参入しました。彼女は2017年に気候変動大臣になる前にいくつかの閣僚職に就き、2018年からエネルギーとクリーン成長担当大臣として英国内閣に出席しました。

彼女は、保守派政府を気候変動のリスクと低炭素成長の経済的機会に再び焦点を当てるのに尽力し、英国のクリーン成長戦略の策定、グリーンファイナンスタスクフォースの結成、世界的な電力供給の過去の石炭同盟の発足、およびこの再生可能エネルギー源のコストを劇的に削減した英国のオフショア風力発電セクター契約。

2019年、クレアオニールは、英国を2050年にネットゼロエミッション経済とすることを約束した画期的な法律を発表しました。彼女はまた、国連2020気候変動会議[COP26]を主催するための英国の落札を策定しました。

ブルームバーグの世界的な「2020年のグリーン30」の1つとしてランク付けされたクレアは、現在、脱炭素化が最も困難なセクターに必要なインセンティブと投資、および多国間主義が細分化する時代に企業や金融セクターに求められる野心的な低炭素リーダーシップに注力しています。そしてポピュリスト政府。彼女は現在暫定タイトルの本を書いています：キーリングカーブのクラッキング：低炭素の反撃をリードするのは誰か？

Claire O'Neillはサマセットで育ち、Brasoseose College Oxfordで地理学を学び、その後Harvard Business SchoolでMBAを取得し、Royal Geographic Societyのフェローです。彼女は、彼女と彼女の家族が住んでいるウィルトシャーの選挙区に10年勤務した後、2019年にDevizeの議会の議員として辞任しました。

Topics

- Climate Change
- Environment
- Future
- Global
- Globalisation
- Leadership
- Women